

タイトル	午王山遺跡国史跡指定へ答申なる
------	-----------------

いつ 実施日時・工期	令和元年11月15日（金）17：00過ぎ
どこで 会場・開催地等	国の文化審議会の文化財分科会の審議・議決を経て
だれが 主催者・関係者	国の文化審議会（会長：佐藤 信）
なにを 事業内容など	特別史跡1件、史跡名勝天然記念物19件、追加指定29件、登録記念物5件を指定するよう文部科学大臣に答申した。
なぜ 目的・理由	埼玉県和光市の午王山遺跡を史跡に指定するよう答申がなされた
どうした 経緯・経過	和光市では、午王山遺跡の国指定史跡を目指し、今年度の7月に意見具申書を県を通して文化庁に提出した。国の文化審議会の文化財分科会の審議・議決を経て、答申がなされた。 ※市長コメント別紙
金額	
その他	今回の答申により、今後官報告示が成された段階で国指定史跡となります。
問い合わせ先 担当課	課 名 生涯学習課 氏 名 課長補佐 鈴木一郎 電 話 048-464-1111（内線2442）

市長コメント

本日、国の文化審議会から文部科学大臣へ、和光市新倉3丁目に所在する「午王山遺跡」を国の史跡にするよう答申がなされました。

和光市では、初めてのことですが、遺跡が高く評価されたことを大変うれしく思います。来年、市制施行50周年を迎える和光市にとって重ねての喜びを感じます。

これを契機に、多くの市民に和光市の歴史と文化に一層の関心を持っていただくことを期待しています。

また、これまでの取り組みの中で、多大なるご理解とご協力を賜りました地元関係者の皆様、ご指導いただきました文化庁、埼玉県、午王山遺跡総括報告書策定委員会委員をはじめ、多くの皆様に深く感謝いたします。